

岐阜の压力容器メーカー

東成鋼管が子会社化

社名「東成
GTEX」に

脱炭素に商機、東海地方も営業エリアに

各種鋼管の在庫販売
・加工、超精密金属管
製造の東成鋼管（本社
・東京都中央区、社長
・岡部耕喜氏）は、圧
力容器メーカー「藤澤
鉄工所」（岐阜県各務
原市）の全株を取得し
完全子会社化した。3
月28日付で、岡部氏が
新社長に就任。液体や
気体を扱う各種タンク

関連の製造能力を取り
込むことで水素発電な
ど脱炭素ビジネスの展
開を図るとともに、営
業網を今より西の東海
地方まで広げるのが狙
いだ。

グループ化に合わ
せ、4月1日から子会
社の社名を「東成G
TEX（ジーテックス）」
に変更。「グリーンエ

エネルギーとグローバル
の「G」、テクノロジ
ーの「TE」、無限を
意味する「X」を盛り
込んだ」（岡部社長）。

藤澤鉄工所は192
5年（大14）に創業。資
本金は3200万円、
従業員数は設計などを
含め15人。

ボイラー、高圧ガスタ
ンク、危険物タンクな
どさまざまな用途のタ
ンク類を製造してき
た。業績は堅調だが後
継者難もあり、東成鋼
管に事業承継を託し
た。

今回の子会社化で本
社と仙台、古河、浦安
の自社3倉庫、昨年10
月に子会社化した溶接
加工のエヌ・ワイ産業
（長野市）を合わせて
6拠点体制を確立。営
業エリアも東北から関
東中部まで拡大した。



金属工業団地内に立つ東成GTEX工場（岐阜県各務原市）
①、危険物も含む液体やガスを貯留できるさまざまな形状の
压力容器を生産

岡部社長は「工場は
金属団地内にあり、周
辺も航空や自動車など
ものづくりが盛んな地
区。高速道路など交通
網も充実し、職人たち
の技術力の高さもあり
非常に魅力ある会社」
と評価。「今後は水素
やアンモニアによるエ
ネルギー発電施設整備
など、二酸化炭素（C
O₂）排出ゼロに向け

た動きが加速する」と
土木建築の各需要対応
に加え、国産ロケット
にも使われる超精密金
属管製造、各種溶接・加
工、压力容器製造まで
できるようにしたい」
と、意気込みを語る。

